別紙様式（Ⅲ）－３【添付ファイル用】

商品名：キューサイ ライラック 01（ゼロワン）乳酸菌

原材料及び最終製品の分析に関する情報

第１　食品の分析		
（１）機能性関与成分の定量試験	試験機関の名称	一般財団法人日本食品分析センター
	試験機関の種類	☑登録試験機関又は登録検査機関 □農業試験場等（生鮮食品に限る） □その他の第三者機関 □届出者又は利害関係者
	分析方法を示す資料	□標準作業手順書 ☑操作手順、測定条件等できる限り試験方法について具体的に記載した資料
	届出者又は利害関係者で分析を実施する場合、その合理的理由	
（２）機能性関与成分の定性試験	定性試験の方法	遺伝子型（16S rDNA 配列）と表現型（菌体タンパク質のマススペクトルパターン）による株同定法
（３）安全性を担保する必要がある成分の定量試験 □あり （成分名：　　）	試験機関の名称	
	試験機関の種類	□登録試験機関又は登録検査機関 □農業試験場等（生鮮食品に限る） □その他の第三者機関 □届出者又は利害関係者
	分析方法を示す資料	□標準作業手順書 □操作手順、測定条件等できる限り試験方法について具体的に記載した資料
	届出者又は利害関係者で分析を実施する場合、その合理的理由	
（４）届出後における分析の実施に関する資料（機能性関与成分及び安全性を担保する必要がある成分）	機能性関与成分	
	分析方法、代替指標の場合はその成分名を併記	試験機関の名称（あらかじめ規定されている場合のみ）及び試験機関の種類
	届出した測定法	一般財団法人日本食品分析センター（登録試験機関） アテリオ・バイオ株式会社（利害関係者）

別紙様式（Ⅲ）－３【添付ファイル用】

<table>
<tr><td rowspan="5"></td><td colspan="2">安全性を担保する必要がある成分</td></tr>
<tr><td>分析方法、代替指標の場合はその成分名を併記</td><td>試験機関の名称（あらかじめ規定されている場合のみ）及び試験機関の種類</td></tr>
<tr><td></td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="7">（５）届出後における分析の実施に関する資料（原料の基原の確認方法及び製品の崩壊性試験等を実施する必要がある場合、その方法及び頻度）
☑あり</td><td>確認する項目（基原等）及び試験方法</td><td>試験機関の名称及び種類</td><td>確認の頻度</td><td>その他</td></tr>
<tr><td>製品の崩壊性試験、日本薬局方崩壊試験法に準じる</td><td>アリメント工業株式会社（利害関係者）</td><td>製造ロット毎</td><td>なし</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>（６）その他特記すべき事項</td><td colspan="3">・機能性関与成分を含む原材料名は有胞子性乳酸菌末（オカラ粉末、有胞子性乳酸菌）です。
・機能性関与成分を含む原材料「有胞子性乳酸菌末」に含まれる有胞子性乳酸菌は、アテリオ・バイオ株式会社の特許株である *Bacillus coagulans* lilac-01 株のみです。
・前処理後に、希釈液を加熱し、lilac-01 株の最適温度の高温で培養し、酸生成とコロニーの形状の確認を行う定量方法で、ロットごとに lilac-01 株の菌数を確認しています。
・遺伝子型（16S rDNA 配列）と表現型（菌体タンパク質のマススペクトルパターン）によって、定性確認もできます。</td></tr>
</table>

注）機能性関与成分が複数ある等、本様式に記載しきれない場合は、適宜記入欄を追加し、必要な事項を記載すること。